

佐野優子氏によるバレーボール講習会（平成30年4月7日（土））



4月7日（土）、京都市障害者スポーツセンター体育室において、午前の部として、佐野氏と佐野氏が所属する雅マイトリーズの選手及び京都橘大学のバレーボール部選手が講師を務めるバレーボール教室が、また、午後の部として、シッティングバレーボール全日本女子代表チームが講師を務めるシッティングバレーボール体験会が開催され、約80名の参加者が集まりました。

まず初めに、ウォーミングアップ、そしてパス、レシーブ、アタックなどの実技指導、最後には参加者同士でチームを作り試合が行われました。

試合には佐野氏も参加し、得点が決まると全員でハイタッチを行うなど、バレーボールを通じて心から一つになっている様でした。

午後のシッティングバレーボール体験会では、佐野氏も参加者と同じ輪に入ってパス回しを体験されました。

小さな子どもから御高齢の方まで、障害のある人もない人も、バレーボールの競技を通じて交流する機会となりました。

佐野氏は、午前の講習会で「レシーブが上手くなる秘訣としては、ボールが来てから動くのではなく、来る前に、左右どちらに来るのかなど、様々なパターンを想定しておくことが重要です。」と参加者にアドバイスを送りました。

講習会終了後には、参加者からの質問タイムが設けられ、「試合中にチームが点を取られ、バタバタしている時にどのように対処すれば良いですか」という質問に、佐野氏から、「バタバタしている時こそお互いに声をかけあっていくことが大事です。」と参加者にアドバイスを送られ、技術面だけでなく精神面でも参加者にとって有意義な講習会となりました。